

WEEKLY

一宮

題字 PG 安野謙次

Rotary
一宮RC



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日
●事務局 ☎491-0858 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話(0586)24-1931

UNITE FOR GOOD

URL: <http://rc138.org> E-Mail: rc138@lily.ocn.ne.jp



重文「陵王」面 真清田神社蔵

2026年4月2日
第3672回例会

プログラム
深谷元統氏
(CBC テレビビジネスデザイン局
ビジネスプロデュース部副部長)

国歌 「君が代」
ロータリーソング 「奉仕の理想」

4月度のプログラム

2日 卓話 深谷元統氏
9日 クラブアッセンブリー
16日 例会変更 春の親睦家族会
23日 卓話 AED 取扱い講習会
30日 休会 定款第7条第1節d-1

会員誕生日おめでとう

豊島半七君(4月 1日)	浅井孝介君(4月 3日)
山口雅志君(4月 3日)	高木道久君(4月 4日)
土川正夫君(4月 7日)	山本博史君(4月 9日)
伊藤幸一君(4月17日)	大鹿晃裕君(4月22日)
伊藤光治君(4月24日)	村手 誠君(4月24日)
森 克彦君(4月26日)	

会員夫人誕生日おめでとう

森 克彦君夫人	房 子様(4月 1日)
墨 芳郎君夫人	薫 様(4月 1日)
浅井孝介君夫人	三 枝様(4月 5日)
山口雅志君夫人	由実子様(4月 5日)
坂倉慶信君夫人	梨 央様(4月 6日)
川口敏男君夫人	恵 子様(4月 9日)
豊島半七君夫人	由未子様(4月14日)
中西啓太君夫人	美 穂様(4月26日)
大森輝英君夫人	清 美様(4月28日)
村手 誠君夫人	典 子様(4月28日)
山上哲司君夫人	たまき様(4月29日)

結婚記念日おめでとう

浅井孝介君(4月 3日)	中島崇介君(4月 8日)
坂野公治君(4月 9日)	松田暁昌君(4月11日)
川口敏男君(4月19日)	岸 岩男君(4月20日)
野杵章夫君(4月20日)	

第3671回例会の記録
2026年3月26日(木)

会長挨拶

昨今の世界情勢を見ると、「水と平和は無償ではない」という言葉が脳裏に浮かんできます。さて、水と言えば3月はロー

山上哲司

次回の予定

クラブアッセンブリー
クラブリーダーシップ・
ラーニングセミナー報告

会長	山上哲司	会長エレクト	桑原英寿
副会長	梯 國彦	副幹事	吉山佐人
幹事	大鹿晃裕	会報委員長	梅谷朋志

新会員紹介



氏 名 山本博史君
職業分類 旅行幹旋業
勤務先 株式会社JTБ 名古屋事業部
役職名 営業統括部長
生年月日 昭和45年4月9日
紹介者 豊島半七君

タリークラブの「水と衛生月間」です。安全な水と清潔な衛生環境の確保は、重要な課題として国際社会で広く認識されています。アジアの某大国では水資源の確保を国家の重要戦略のひとつとして位置づけ、さまざまな動きを示しています。この重要な課題に対し、一宮ロータリークラブは国際奉仕の一環として、インドネシア等の国々で井戸の掘削、給水施設の整備、衛生教育などに取り組み、地域の人々が自立し、安心して暮らせる環境づくりを支援してきました。

話は変わりますが、かつてゴルフ場は環境破壊の象徴と見られ、非難されることがありました。しかし近年の調査によれば、計画的な水資源の管理や広大な緑地の維持を通じて、自然環境や生態系の保全に大きな貢献をしていることが証明されています。ゴルフを愛好される皆さんは、プレー料金や年会費の支払いを通じて大きな社会貢献をしているのであります。こうした水を大切に守り活かすという姿勢は、我々ロータリーアンが目指す持続可能な社会づくりに通じるものがあると思います。

ロータリーの友3月号

三嶋啓一郎

2頁、3頁にRI会長メッセージが掲載されております。今月は「水と衛生月間」ということで、ロータリーがどのような役割を果たしているかということで、パナマノルデステロータリークラブの水プロジェクトが紹介されています。さらに、水マネジメントの現場の紹介として、テキサス州の水環境の改善の取り組みとして、「レインガーデン」が紹介されています。これは、雨水を一時的に貯水し、時間をかけ自然のろ過機能で、汚染物を除去することで、水質を改善させる仕組みです。このレインガーデンの設置に、ロータリークラブが中心となって対応した事例が紹介されています。

12頁からは、2026年—27年の国際ロータリー会長のインタビューが載っています。新しい提案には必ず従来との明確な違いを求めることから「ゲームチェンジャー」と呼ばれているようです。

総組み2ページからは巨大地震を乗り越えるとして、被害の想定と備えのヒントについて記載されています。被害想定を更新し、人災を防ぐ仕組みを構築すること、また、南海トラフについては、かなりの確率で発生することを前提に対策を進めることが記載されています。

委員会報告

ニコボックス

田口 誠

☆ 伊藤正樹君(名古屋みらいRC)

1月から千秋病院に歯科医師として勤務しています。よろしくお申し上げます。

☆ 土川保夫君

今年1月17日(土)に岐阜カントリークラブ6番ホールでホールインワン達成しました。60年のゴルフライフで初めてです。IRG会員の皆様には記念ボールを配らせていただきました。

☆ 足立 誠君

大成中学・高校のIACの「卒部式」に山上会長を始めとして、多くのRC会員の参加を頂き、加えて「記念品」も手渡し頂き有難うございました。また、小生のMPPHF+4のバッヂを頂きました喜びで。

☆ 柴垣健一君 浅井孝介君

3月19日から24日まで、米山学友のカルキとともに3名でネパールを訪問してきました。首都カトマンズ近郊の第3292地区のカブレ・パネバRCの皆様と交流を行い、翌日は国際奉仕活動として孤児院を訪問しました。一宮RCのロゴ入りリュックサックや靴をお届けし、子どもたちと一緒に食事をするなど、大変有意義で心温まる時間を過ごすことができました。なお、今回の詳細につきましては、5月28日に米山学友のカルキより卓話にてご報告させていただきます。

☆ 吉山佐人規君

3月17日に開催されましたIRG同好会第2回ゴルフコンペ白組にて優勝できた喜びで。

☆ 野杵晃充君

本日、社会奉仕事業の活動報告をさせていただき喜びに！

☆ 青木義実君

歴史と伝統ある一宮RCでイニシエーションスピーチをさせていただきます喜びで。

☆ 古林幸二君

本日が最後の例会参加となりました。4年間大変お世話になりました心より感謝申し上げます。歴史と伝統のある一宮RCに所属できたことを誇りに思うとともに、今後益々発展されますことを祈念申し上げます。4年間ありがとうございました！

☆ 重光裕文君

本日をもって退会させて頂くこととなりました。豊島会長にご紹介頂き、歴史と伝統ある一宮RCに入会させて頂いたこの一年間、本当にお世話になりました。

☆ 山下貴稔君

本日、一宮RCを退会させて頂くことになりました。在籍中は、たくさんの方に大変お世話になりました。退会いたしますが勤務地は変わりませんので、一宮の街で見かけましたら変わらずお声がけいただければ幸いです。5年間に渡り本当にありがとうございました。

☆ 山上哲司君 大鹿晃裕君

先日の西尾張分区分IMには多数の方に出席いただきましてどうもありがとうございました。本日は、青木義実さんのイニシエーションスピーチ、山上年度での地区補助金事業の介助犬を周知しました報告を致します。ゲストには名古屋みらいRCより伊藤正樹さんにお越し頂いております。一宮RCでの時間をお楽しみください。

出席報告

ビジター 出席数	1名
現在の会員数	110名
本日の出席数	58名
前々回の出席率	100%

***** プログラム *****

イニシエーションスピーチ

青木義実君

テーマ「自己紹介」



2025年6月、豊島半七さまにご紹介いただき、歴史と伝統ある一宮RCに入会させていただきました。

私は、1970年(昭和45年)に岐阜県安八郡墨俣町で生まれました。3人男兄弟の次男坊です。地元で野球に励み、大学を卒業後、大垣共立銀行に入社し現在31年が経過しました。私が生まれ育った墨俣と言えば、まず洪水です。長良川と揖斐川に挟まれ輪中地域で1976年(昭和51年)には長良川が決壊し大洪水となりました。私はまだ保育園児で、小学校に避難し、町が水に覆われている光景を目の当たりにしました。避難生活は大変でしたが、自衛隊のヘリコプターがくる、救援物資が運ばれるなど初めての体験ばかりで、不謹慎ですが少しウキウキした気持ちで避難生活を送っていました。

2つ目は「墨俣一夜城」です。現在、天守閣が立っていますが、実際には砦です。今の時期は桜がとても綺麗です。

次に大垣共立銀行についてです。

1896年(明治29年)3月に創立し、今年で130年を迎えることができました。

この大垣共立銀行という名前は創立から変わっていません。貴族のための銀行から、地域の皆さまの銀行になろう…「共に立つ」共立という文字が入っています。

そんな名前を変えて欲しいという声が創立100周年の時に社員からあがりました。名前ではなく銀行のイメージを変えようということで「銀行はサービス業」「お客様目線で考える」という文化がスタートしました。

そんな銀行で私はテレビ局に1年出向。広報部に都合9年。関連会社への出向4年。単身赴任歴10年と、地方銀行マンらしからぬ人生を歩んでおります。

そして今、一宮で仕事をさせていただいています。一宮エリアには6つの拠点があり、皆さまに愛され親しまれ信頼されるOKB一宮を築いていきます。何卒、引き続きのご指導ご鞭撻を宜しくお願いします。

地区補助金申請事業報告会

「介助犬の認知度向上および普及促進」

野杵晃充君



地区補助金事業は、一宮ロータリークラブ会員の皆様からロータリー財団への寄付した年次基金の約24%を、各クラブの社会奉仕事業に利用できるというものです。予算額は約60万円です。今年度は、山上会長の意向により「介助犬の認知度向上と普及」に向けて一年間、活動させていただきました。

介助犬とは

補助犬には盲導犬・介助犬・聴導犬の3種類があり、なかでも介助犬は肢体不自由のある方の日常動作をサポートする犬です。落とした物を拾う、ドアの開閉、携帯電話を運んで緊急連絡手段を確保する、靴や靴下を脱がせるといった着替えの補助など、多岐にわたる仕事を担います。介助犬は利用者に「自分でできた」という自尊心をもたらし、一人での外出への不安を軽減するだけでなく、ご家族の安心にもつながります。さらに、社会とのつながりを深める大きな役割を果たしています。

介助犬を取り巻く課題

しかし、介助犬の現状には深刻な課題があります。盲導犬が全国に約800頭いるのに対し、介助犬はわずか60頭弱にとどまっています。必要としている方が約15,000人いるにもかかわらず、認知度の低さが普及を妨げています。介助犬の存在を知らない方が多く、街で見かける機会もほとんどないため、飲食店等での同伴拒否も発生しています。また、1頭の育成に300万円以上の費用がかかり、その約90%を寄付に頼っているという資金面の問題も大きな壁となっています。

一宮ロータリークラブの取り組み

当クラブでは、愛知県長久手市にある日本介助犬協会(シンシアの丘)と連携し、介助犬の普及支援に取り組んでまいりました。昨年9月には、日本介助犬協会代表理事の高柳友子様を講師にお招きし、メンバーの前で介助犬のデモンストレーションを実施。その際、寄付金・グッズ販売で44,300円の支援を行いました。さらに昨年10月には「びさいまつり」にてメンバー46名が参加し募金活動を実施、グッズ販売16,100円・寄付金34,550円を集めました。また、当クラブからパーカーやポスターを日本介助犬協会に寄贈し、中日新聞やICCなどメディアにも取り上げていただきました。

私たちにできること

介助犬を支えるために、私たち一人ひとりにできることがあります。まず「知る・広める」こと。家族や友人に介助犬のことを伝えるだけでも大きな一歩です。次に「寄付で支える」こと。少額からでも継続的な支援が大きな力になります。そして「地域で活動」すること。啓発イベントへの参加・協力が、介助犬と共に歩む温かい社会づくりにつながります。今後とも皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

最後にこのような学びの機会をいただいた山上会長と大鹿幹事、犬をまったく触れない私を優しくサポートいただいた山口雅志副委員長にお礼を申し上げ、一年間の活動報告に代えさせていただきます。